

「若桜谷公共交通活性化総合連携計画案」についてのご意見・ご提案①☒

☒

☒ 2008年6月に国土交通省交通政策審議会陸上交通分科会にてまとめられた提言でも触れられている通り、今までは、鉄道・バス・タクシー等、交通事業者がバラバラになって政策を行っていたが、今後は、他の交通モードへのアクセス改善・駅の拠点性を活かした公共サービスの提供等により、一体となったサービス向上を通じて、公共交通全体の活性化を図る必要があると思われま

す。☒

☒ 若桜鉄道沿線で述べると、近くを走る国道29号線には日本交通のバス路線が並行して運行されています。☒

☒ 現在の若桜鉄道の施設と、JR郡家～鳥取間の兼ね合いから、毎時*分発というタイムリートレインの設定はすぐには設定出来ないと思われま

す。☒

☒ そこで、並行して走るバス路線が補うバスダイヤの設定で補完出来るのではないのでしょうか？☒

☒ そこで、☒

1、若桜鉄道駅前でバスの方向転換が可能な駅には、路線バスを乗り入れるように、ルートの整備を行う☒

1、若桜鉄道の駅待合室に、最寄のバス停の位置とバス時刻を知らせるマップの掲示☒

1、日本交通のバス停に、最寄の若桜鉄道駅の位置と鉄道時刻を知らせる掲示板の設置☒

その他、若桜鉄道列車内・日本交通バス車内に、若桜谷の温泉・観光施設へのアクセスガイドを掲示したり、役場・観光協会等のHPで、公共交通機関を利用したモデルコースのPRを行う。☒

又、若桜鉄道・JR・日本交通バスが利用出来る共通パスの販売を検討。☒

今回の総合連携計画案は、若桜鉄道に対する政策が主となっていますが、地域の足は、鉄道・バス・タクシー等、どれ一つ抜けても成り立ちません。☒

バスについては、バス停の整備・バス接近案内装置の設置・車内放送にバス停案内に続いて「登録文化財**橋梁近く」等のコメントを新たに入れる。☒

タクシーについては、文化財マップのような物を作成して、運転手さんに配布する。☒

料金設定込みのモデルコースの策定が考えられます。☒

ご意見に対する回答：若桜鉄道新体制移行準備室

このご意見ご提案は、本連携計画の「第3章5.目標を達成するために行う事業及びその実施主体」に係る事項と考えます。

10月23日（木）に第3回協議会を開催し、パブリックコメント実施に係る報告をしたところです。また同日、本連携計画を策定しましたことをご報告いたします。（本連携計画については、ホームページにて閲覧が可能です。）

本連携計画を国に提出した後、実施計画の策定にかかります。

その際、このご意見ご提案を反映するため、実施計画における検討で、その材料としていきたいと考えています。

このたびは、貴重なご意見ご提案を賜り、誠にありがとうございました。また今後とも、この地域における取り組みに、温かいご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「若桜谷公共交通活性化総合連携計画案」についてのご意見・ご提案②☒

☒

☒上下分離方式による若桜鉄道の維持発展策を支持しますが、計画に危機感も具体策も感じられないのが残念です。若桜谷の存亡をかけた税金投入の決断にもかかわらず、それに見合った決意が伺えません。若桜鉄道を残して「若桜谷をこうする、ああする」「このように若桜谷で生きていく」…。そんなビジョンが希薄です。地域づくりの方向性が明確でないせいでしょうか。身軽になる鉄道会社も、いよいよ汗と知恵を絞って自立しなければなりません。地域の宝となれるよう、具体的な地域貢献策を急ぎ示してほしいものです。☒

☒

~~☒☒☒~~今回の計画づくりで深刻化する若桜谷の少子高齢化問題が指摘されています。確かに事実から目をそらすわけにはいきませんが、そのような視点で地域づくりを考えると、日本全国津々浦々、「仕方のないこと」というあきらめが先行、支配してしまいます。鳥取県に活力がないのはそのため、若桜鉄道が赤字になるのはそのため…。いずれも誰のせいでもないのです。「心の過疎」になってはいけません。☒若桜谷はむしろ「長寿の里」を誇るべきです。ただ、暮らしやすい地域になっているのでしょうか。県内の平均寿命は男78.3歳、女86.3歳ですが、若桜町はいずれも最下位です。八頭町は平均値。これでは生き生きとした「長寿の里」とはいえませんが。まちづくりの再点検、再構築が必要です。☒

☒

~~☒☒☒~~厚生労働白書によると、県民所得に占める年金受給額が全国で10%を超えたといいます。鳥取県は全国3位の14.7%、総額2058億円でした。県内の民間法人所得は2036億円ですから、ついに民間企業の稼ぎを上回りました。およそ3人に1人は65歳以上という若桜谷は、おそらく「年金立町」でしょう。この事実を踏まえた若桜谷づくりが大切です。若桜鉄道も地域の公共交通も公共施設も、果たして地域のニーズにこたえているのでしょうか。使いやすさより、採算性や収益性が幅をきかせていませんか。「長寿の里」はお年寄りはもちろん、子どもも、老若男女誰もが豊かに暮らせる地域です。若桜鉄道を活用しての日本一の長寿の里づくり。挑戦のしがいがあります。☒

☒

~~☒☒☒~~全国の年金生活者や人生の練達を誘致して、これまで若桜谷になかった産業

や文化の花を咲かせましょう。若桜鉄道もバスも文化の運び屋です。60歳以上の人はフリーパス。沿線の駅前には、診療所、託老所、老老介護施設、庭付き住宅、ご長寿レストラン・ホテル、コレクションを見せ合う美術館や展示即売館、東京・巣鴨に負けないご長寿市場や門前市などが誕生することでしょう。鉄道・バス会社が企画・経営すれば、何も運賃収入にこだわる必要はありません。お年寄りには、若桜谷づくりの先頭に立ってもらいましょう。若桜鉄道沿線をフルーツの里にふさわしく、実のなる果樹と四季とりどりの花で埋めましょう。こんな地域づくりこそ、全国に誇れる観光地へと発展していくのだと思います。☒

☒

~~☒☒☒~~若桜鉄道活性化は鉄道施設に限らず、沿線エリアの小中学校や旧町役場など公共施設の利活用、まちや町民のバリアフリー化も必要になってきます。いかがでしょう。☒

☒

☒

ご意見に対する回答：☒若桜鉄道新体制移行準備室☒

☒このご意見ご提案は、本連携計画の「第3章☒5.目標を達成するために行う事業及びその実施主体」に係る事項と考えます。☒

☒10月23日（木）に第3回協議会を開催し、パブリックコメント実施に係る報告をしたところです。また同日、本連携計画を策定しましたことをご報告いたします。（本連携計画については、ホームページにて閲覧が可能です。）☒

☒本連携計画を国に提出した後、実施計画の策定にかかります。☒

☒その際、このご意見ご提案を反映するため、実施計画における検討に生かしていくとともに、まちづくりの参考とさせていただきたいと考えています。☒

☒このたびは、貴重なご意見ご提案を賜り、誠にありがとうございました。また今後とも、この地域における取り組みに、温かいご支援ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。☒